

# 道路交通の時間・空間的分析

～連続的な土地における ADL モデルの適用可能性について～

橘 洋介

## 要旨

道路利用者の出発時刻選択問題とその出発時刻の再配分を促す課金ルールを示した ADL (Arnott, de Palma, Lindsey) モデルの、連続的な土地における適用可能性について検討を行う。ADL モデルに対する空間的側面の導入は離散的なネットワークにおいて行われてきたが、都市での課金を考える場合には、都市内の土地利用の最適化への拡張可能性に限界がある。したがって、土地利用を分析可能である、連続的な土地における ADL 課金の適用可能性についての検討を行った。その結果、適用可能性は最大の交通量 / 交通容量となる地点およびその他地点の交通容量に依存する。そして適用可能なケースは、課金ポイントとなる地点よりも外側に、この地点よりも小さい交通容量となる地点が存在しない場合に限られることが明らかとなった。

キーワード：単一中心都市、連続的な土地、道路交通、混雑、ADL モデル、交通量 / 交通容量と交通容量